

イベント開催時のチェックリスト (1/4)

【東京都様式】

5,000人超かつ収容率50%超（緊急事態措置期間・まん延防止等重点措置期間は5,000人超）
のイベント開催時には、「感染防止安全計画」の提出が必要です。

開催概要

イベント名	「細胞を創る」研究会15.0	
開催案内URL (ある場合のみ)	http://jscsr.org/sympo2022/	
出演者・ チーム等	要旨集に掲載	
開催日時	令和4年10月17日 9:30 ~ 19:00 令和4年10月17日 9:30 ~ 19:00	
開催会場	東工大蔵前会館（くらまえホール、ロイヤルブルーホール、ギャラリー）	
会場所在地	〒152-0033 東京都目黒区大岡山2丁目10-1	
主催者	「細胞を創る」研究会（大会実行委員会委員長 車兪澈）	
主催者 所在地	〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2-15（国立研究開発法人海洋研究開発機構）	
主催者 連絡先	（電話番号）	046-867-9705
	（メールアドレス）	meeting2022@jscsr.org
収容定員 (いずれか選択)	収容定員あり 360人(くらまえ)、120人(ロイヤルブルー)	-
収容率（上限） (いずれか1つ選択)	(大声なし※1※2) 収容定員の100%以内	-
		-
参加人数	最大240人（事前予約189人、当日券51枚）	
大声なしと判断した理由や具体的な対策 ※2	(大声なしの場合のみ記載) 口頭発表は音響設備を利用した講演形式を採用するため大声なしと判断した。ポスター展示による研究発表では発表者と聴講者間に会話が発生するものの、日常会話程度の音量であるため大声なしと判断した。	

イベント開催時のチェックリスト (2/4)

【東京都様式】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。

※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。

項目	チェック	必要な対策内容
①飛沫の抑制 (マスク着用や 大声を出さない こと)の徹底	✓	【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。 (※) 大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。
		【大声ありの場合】 「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。
②手洗、 手指・施設消毒 の徹底	✓	こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。)
	✓	主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施。
③換気の徹底	✓	法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分間以上等)の徹底。
④来場者間の 密集回避	✓	入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施。
	✓	休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。
	✓	大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

イベント開催時のチェックリスト (3/4)

【東京都様式】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。
※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。

項目	チェック	必要な対策内容
⑤ 飲食の制限	✓	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	✓	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	✓	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
	✓	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。
⑥ 出演者等の 感染対策	✓	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	✓	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	✓	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。
⑦ 参加者の 把握・管理等	✓	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	✓	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	✓	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

イベント開催時のチェックリスト (4/4)

【東京都様式】

特記事項

- ・ イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合（※）は、その理由を記入してください。
- ・ その他、特記事項があれば記入してください。

※例1：屋外で開催するイベントのため、「③換気の徹底」は未チェック。

※例2：イベント中の飲食を禁止しているため、「⑤飲食の制限」は未チェック。

【記入欄】

(1) 定員

各会場の定員および収容予定最大人数は下記の通りである。

(内訳)

くらまえホール：240名（定員360名）

ロイヤルブルーホール：120名（定員120名）

ギャラリー：120名（定員設定なし）

(2) ポスター発表

約50件の展示を予定しており、発表者による説明と参加者によるディスカッションを行う。密集を回避するために以下の対策を講じて実施する。

- ①会場はロイヤルブルーホールとギャラリーに分割して人の流れを分散する。
- ②ポスターパネルの設置間隔を平時より広めに確保する。
- ③隣接するポスターの発表時間帯をずらしてスペースを確保する。

(3) チェックリスト各項の補足

P.2①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

事前のアナウンスを行うとともに、不適切な行為が発見された場合は是正措置を講じる。

P.2②手洗、手指・施設消毒の徹底

会場内に手指消毒装置とアルコールティッシュを設置する。

P.2③換気の徹底

会場の設備を利用するほか、休憩時間に扉を開放するなどの方法で換気する。

P.2④来場者間の密集回避

受付は複数窓口を設置する。入退場時は会場内アナウンスで時差退場を呼びかける。

P.3⑤飲食の制限

コーヒースタンドではキャップ付飲料と個包装の菓子類に限ってサービスを行う。

P.3⑥出演者等の感染対策、⑦参加者の把握・管理等

事前登録を原則とし連絡先を確認する。当日参加についても連絡先を確認する。

感染症関連の諸注意事項は参加者にメールとホームページへの掲載で通知する。